

平成30年度

# 県立総合教育センター 事業等説明会

「学校現場に寄り添う教育センター」  
「学び続ける教師を支援する教育センター」

日 時 : 平成31年 2月26日 (火) 15:00~17:00  
場 所 : 県立総合教育センター 本館 講義室 (3階)

## ○ 目 的

総合教育センターが実施する学校支援，教職員支援に関する事業等を周知し，理解を深めるとともに，各教育機関や学校現場との情報交換をとおして，本センター事業の取り組み強化と本県教育の充実と発展に資することを目的とする。

## 会 順

### 県立総合教育センター事業等説明会（15：00～17：00）

- 1 開会のことば・・・・・・・・・・・・・・・・司 会
- 2 所長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・所 長 與座 博好
- 3 事業説明（80分）・・・・・・・・・・・・・・・・各 班

## 目 次

○ 調査研究事業（教科研修班）・・・・・・・・・・・・・・・・	1
○ 研修事業	
① 長期研修について（教育経営研修班）・・・・・・・・	5
② 夏期短期研修に関すること（IT教育班）・・・・・・・・	9
③ 出前研修に関すること（理科研研修班）・・・・・・・・	15
④ ICT教育研修に関すること（IT教育班）・・・・・・・・	17
○ 児童・生徒実習事業（産業教育班）・・・・・・・・	19
○ 教育相談事業	
① 教育相談（教育経営研修班）・・・・・・・・	21
② 特別支援教育相談に関すること（特別支援教育班）	22
③ 沖縄県適応指導教室「てるしの」（教育経営研修班）	26

※教育情報普及・提供事業については、資料及びホームページ等で情報提供をしています。

### 4 質疑応答及び意見交換等（5分）

- 5 閉会のことば・・・・・・・・・・・・・・・・司 会

### ※ 施設見学会および活用等（16：30～17：00）

事業等説明会終了後，希望・選択制で下記の内容を実施します。多くの方のご参加をお待ちしています。

1. 沖縄県適応指導教室「てるしの」施設見学会  
（教室の見学および活動状況のビデオによる具体的な説明を行います）
2. 産業教育棟 最先端設備施設見学会  
（植物工場、ウォータージェット加工機、分析機器等の見学会）
3. IT教育棟施設見学・プログラミング体験  
（IT機器やラボ室の見学、レゴマインドストームEV3プログラミング体験）

## 調査研究事業

### I 平成30年度県立総合教育センター調査研究事業実施要項（抄）

#### 1 目的

本県の学校教育の諸課題について調査研究を行い、それらの課題解決に向けた学校力（組織経営、研修体制、地域連携等）、教師力（幼児児童生徒理解と教育的愛情に基づいた学習指導・生徒指導等の確かな指導力等）の向上を図り、幼児児童生徒の「生きる力」の育成に資することを目的とする。

#### 2 方針

- (1) 国の関係機関並びに本庁各課及び関係機関と連携した取り組みを実施し、カリキュラム支援センター機能の充実を図るとともに、今日的な教育課題解決へ向けて調査研究を行う。
- (2) 個人または共同で計画的・継続的・組織的に、教育課題に応じた理論研究及び仮説実証的研究、調査研究、事例研究等を行う。
- (3) 学校や教育機関への指導・助言を行う教育センターの役割を担うため「一主事一研究」を原則とする。よって、研究（指導）主事は、「プロジェクト研究」又は「個人・共同研究」について研究を行う。
- (4) プロジェクト研究、個人・共同研究ともに、テーマ検討会及び中間検討会を行い、研究内容の充実を図る。また、「県立総合教育センター研究発表会」を開催し、併せて調査研究報告書、指導資料集等を作成して提供する。さらに教育センターWebページを通して学校教育の充実に役立てる。  
※調査研究報告書は、県内学校、教育機関等に配布。

#### 3 研究組織

##### (1) プロジェクト研究

- ① 今日的な教育課題解決のため、各班から選出されたメンバーでチームを編成し教科・領域等の横断的な研究に取り組む。
- ② 年4回の教育講演会を企画・実施する。
- ③ 研究内容は、調査研究報告書に掲載する。

##### (2) 個人・共同研究

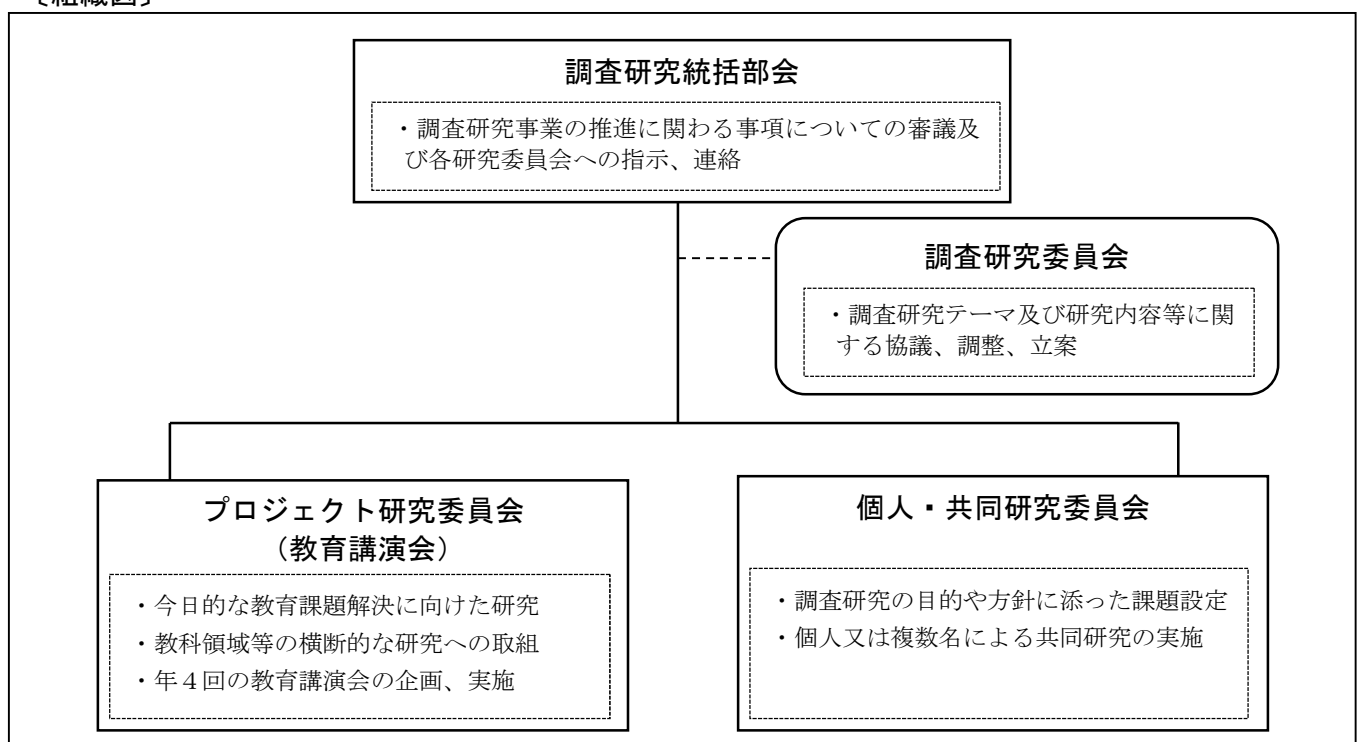
- ① 研究（指導）主事は、調査研究の目的や方針に添った課題を設定し、個人又は複数名による共同研究を行う。
- ② 研究内容は、調査研究報告書に掲載する。

※(1)及び(2)の研究において、教育現場の教諭等を研究協力員等に指定して取り組むこともできる。

研究協力員委嘱要項第5条（人数、任期等）

研究協力員の人数、任期、研究方法及びその他運営上、必要な事項は関係班で定める。

#### 〔組織図〕



## Ⅱ 平成 31 年度県立総合教育センター調査研究について（案）

### 1 調査研究について

調査研究統一テーマ 「これからの時代に必要となる資質・能力の育成（仮）」

#### (1) テーマ設定理由

「本県の学校教育の充実と各学校の課題解決に役立てる」とする調査研究事業の趣旨を踏まえ、新学習指導要領で「育成を目指す資質・能力」及び本県の学校教育の諸問題について、各班の専門性を生かした理論研究及び仮説実証的研究、調査研究、事例研究等を行い、幼児児童生徒の「生きる力」の育成に繋がる研究とする。

#### (2) 研究の方向性

新学習指導要領で「育成を目指す資質・能力」及び本県の学校教育の諸問題を踏まえた、効果的な学校支援の在り方の研究を行う。

### 2 プロジェクト研究について

プロジェクト研究テーマ 「 これからの時代に必要となる資質・能力の育成  
—カリキュラム・マネジメントの視点を通して— （仮）」

#### (1) テーマ設定の理由

- 今後は社会構造が大きく変化することが予想される。この変化を具体的に捉えるとともに、本県児童生徒の実態に鑑みて、本県のめざす児童生徒像を資質・能力の視点から明確にする必要がある。
- 今年度は新学習指導要領の幼稚園における全面実施、小中学校における移行期間、県立高校の周知徹底期間であり、各教科で求められる「資質・能力」「見方・考え方」の理論を構築し具体的な授業実践の検証を行う必要がある。
- 本県の「沖縄県教育振興基本計画」を踏まえ、学校教育の充実として、小中学校においては、さらなる「確かな学力の充実」が、高等学校においては「進路決定率の上昇」や「大学進学率の上昇」が求められており、児童生徒の「資質・能力」の育成が必要である。
- 上述のような状況を受けて、本研究においては小・中・高の教員の授業改善に対する意識・実態調査を実施し、授業改善に関する研究の方向性の理論を構築し学校現場へ提案する必要がある。
- さらに授業実践においては、これまでの3年間のプロジェクト研究における「主体的で、対話的で、深い学び」の理論を踏まえて、さらにカリキュラム・マネジメントの視点を加えた効果的な授業改善を図る必要がある
- 上記で研究した内容をセンターの五大事業に反映させることや学校現場へ提案する必要がある。

#### (2) 研究方針

- 研究の推進にあっては、「義務教育課」「県立学校教育課」と連携して取り組むことが重要であり、定期的な協議会を開催し研究を進めることとする。
- そのために、所内各班が特性を活かし、幼・小・中・高・特支の系統的・継続的な授業改善を推進する。
- 新学習指導要領の実施に向けた学校支援をどのように進めていくか検討し、学習指導要領に示された理念や意義の共有（共通認識）を図る取組を行う。  
定期的な所員学習会の実施の例として、  
・センター事業の課題の共有化に向けた、ワークショップ等の学習会の実施（2回）

- 小学校・中学校・高等学校の実践検証を重点に行う。  
例として、
  - ・研究協力員を指定した取組
  - ・研究協力校・連携校を指定した取組
  - ・各校種とも複数校の授業検証、指導検証を行う取組 など
- 本研究の研究期間を2年とする。1年目は主にテーマ・サブテーマに関わる理論研究と授業実践・検証を実施する。2年目は授業実践・検証に加えて研究協力校・連携校の教職員や児童生徒の変容についても検証を実施する。
- カリキュラム支援センター機能を充実させる取組を推進する。
- 具体的に学校現場で活用できる成果物（調査資料、リーフレット等）の作成を行う。

※ 具体的な研究方法等は、研究方針を基にして平成30年度プロジェクト研究委員会で検討する。

### (3) 教育講演会

- ① 方針 カリキュラム支援センター機能の充実を図るとともに、今日的な教育課題解決に向けた教育講演会を企画・実施する。

#### ② 平成31年度実施計画（年4回）

回	期 日	講 師	主な内容
1	5/28 (火)	元琉球大学教育学部教授、元中京大学教授 浅野 誠 氏	生徒指導、支援を要する児童生徒の具体的な関わり
2	9/27 (金)	帝京大学大学院教職研究科教授 赤堀 博行 氏	道徳教育
3	12/26 (木)	大阪大学大学院人間科学研究科教授 志水 宏吉 氏	貧困問題を抱えた地域の学力向上等に対する教師の資質向上
4	2020年 2/ 1 (土)	大阪教育大学 連合教職大学院教授 田村 知子	カリキュラム・マネジメント

## 3 個人・共同研究について

### (1) 目 的

調査研究統一テーマ「これからの時代に必要となる資質・能力の育成」のもと、個人または共同で取り組むテーマを設定し、各班の専門性を生かし、学校の教育力向上に役立つ研究に取り組む。

## 【ご案内】 平成31年度 移動教育センター講座 実施要項「宮古・八重山地区」

- 1 目的 離島・へき地における教職員の資質及び指導力の充実・向上や組織としての学校力の向上に資するため、教員研修の支援・充実を図ることを目的とする。
- 2 主催 沖縄県立総合教育センター
- 3 対象 宮古・八重山地区の教諭及び教育関係者
- 4 場所 宮古・八重山教育事務所
- 5 内容 2019年5月～9月の計8回、8講座

回	実施日				講座名	内 容	申込 締切
	月	日	曜	地区			
1	5	9	木	宮古	① 小・中学校 道徳	・学習指導要領の解説・評価について ・授業づくりの視点	4/19(金)
2	5	16	木	宮古	② 小・中学校の授業づくり	・「確かな学力」を育む授業づくり ・言語活動の充実	4/26(金)
3	5	30	木	宮古	③ ノートづくり	・「確かな学力」を育むノート指導の工夫 ・実践事例発表	5/10(金)
4	6	5	水	宮古	④小・中小規模複式学級担任講座	・小規模複式学級における学習指導の工夫	5/17(金)
5	6	12	水	宮古	⑤小学校算数	・「確かな学力」を育む算数の授業づくり ・教材研究に関する演習	5/24(金)
6	7	3	水	宮古	⑥小・中学校特別活動	・特別活動の基本的な考え方 ・望ましい集団づくり（演習）	6/14(金)
7	7	10	水	宮古	⑦小学校国語	・言語活動をゴールに位置づけた授業づくり ・単元構想演習 ・実践事例発表	6/21(金)
8	9	19	木	宮古	⑧家庭学習の定着	・家庭学習の定着を図る取組・方策 ・実践事例報告	8/30(金)

回	実施日				講座名	内 容	申込締切
	月	日	曜	地区			
1	5	8	水	八重山	①小・中学校道徳	・学習指導要領の解説・評価について ・授業づくりの視点	4/19(金)
2	5	15	水	八重山	②小・中学校の授業づくり	・「確かな学力」を育む授業づくり ・言語活動の充実	4/26(金)
3	5	29	水	八重山	④ ノートづくり	・「確かな学力」を育むノート指導の工夫 ・実践事例発表	5/10(金)
4	6	4	火	八重山	④小・中小規模複式学級担任講座	・小規模複式学級における学習指導の工夫	5/17(金)
5	6	11	火	八重山	⑤小学校算数	・「確かな学力」を育む算数の授業づくり ・教材研究に関する演習	5/24(金)
6	7	2	火	八重山	⑥小・中学校特別活動	・特別活動の基本的な考え方 ・望ましい集団づくり（演習）	6/14(金)
7	7	9	火	八重山	⑦小学校国語	・言語活動をゴールに位置づけた授業づくり ・単元構想演習 ・実践事例発表	6/21(金)
8	9	18	水	八重山	⑧家庭学習の定着	・家庭学習の定着を図る取組・方策 ・実践事例報告	8/30(金)

## 7 申込方法等（平成31年4月8日・月曜日より受付開始）

- 参加申込票（別紙 様式1）に必要事項を記入の上、総合教育センター教科研研修班へFAXで送信ください。校内研修等による全職員参加、個人参加の申込も可能です。
- 申込締切日は、各講座実施日の約20日前の17:00までです。
- 申込後、参加できなくなった場合は、当センターまでその旨FAXでお知らせください。
- 講座での写真ビデオ撮影、またはICレコーダー等での録音はお控えください。
- 旅費は学校にて対応してください。

## 研修事業

### 長期研修について

#### 1 目的

今日的な教育課題を解決・改善していくために、各自の研修教科・領域に関する理論研究及び実践力の向上と教職員としての教養の深化を図り、使命感を持った積極的な人材を育成し、学校教育の活性化と発展に資する。

#### 2 応募資格

##### (1) 公立幼稚園

- ① 公立幼稚園で、通算3年以上教職を経験し、現在、公立幼稚園に勤務していること。ただし、中堅教諭等資質向上研修(10年経験者研修)の対象者応募資格から除く。また、長期研修期間に教員免許状更新講習は受講できない(ただし、長期研修期間でも教員免許状更新講習が、週休日または休日であればその限りではない)。
- ② 原則として、県内外の長期研修修了後5年を経過していること。

##### (2) 公立小・中学校

- ① 公立小学校又は中学校で、教諭、養護教諭又は栄養教諭として勤務していること。ただし、中堅教諭等資質向上研修(旧:10年経験者研修)の対象者は除く。原則として、5年経験者研修の対象者も除く。また、長期研修期間に教員免許状更新講習は受講できない(ただし、長期研修期間でも教員免許状更新講習が、週休日または休日であればその限りではない)。
- ② 原則として、通算3年以上教職を経験していること。
- ③ 原則として、県内外の長期研修修了後5年を経過していること。ただし、「へき地教育」への応募については、修了後3年を経過していること。

##### (3) 県立高等学校・県立中学校・特別支援学校

- ① 県立高等学校又は県立特別支援学校、県立中学校で、教諭又は養護教諭、栄養教諭として勤務していること。ただし、中堅教諭等資質向上研修(旧:10年経験者研修)の対象者は除く。また、長期研修期間に教員免許状更新講習は受講できない(ただし、長期研修期間でも教員免許状更新講習が、週休日または休日であればその限りではない)。
- ② 原則として、通算3年以上教職を経験していること。
- ③ 原則として、県内外の長期研修修了後5年を経過していること。
- ④ 産業教育班は、県立高等学校の産業教育に関する専門学科に所属していること(普通高校及び総合学科において、専門教科・科目を担当している教諭も含む)。

##### (4) 離島長期研修(宮古地区・八重山地区の教職員に対し、資質向上を図ることを目的とする。)

- ① 宮古・八重山教育事務所管内の公立小学校又は中学校に、教諭として勤務していること。ただし、中堅教諭等資質向上研修(旧:10年経験者研修)の対象者は除く。原則として、5年経験者研修の対象者も除く。また、長期研修期間に教員免許状更新講習は受講できない(ただし、長期研修期間でも教員免許状更新講習が、週休日または休日であればその限りではない)。
- ② 原則として、通算3年以上教職を経験していること。
- ③ 原則として、県内外の長期研修修了後5年を経過していること。

### 3 平成 30 年度長期研修員

班	前期	離島	後期	一年	計	備考
教科研修班	12	5	12	1	30	小(16名)、中(7名)、高(7名)
教育経営研修班			7	1	8	幼(1名)、小(2名)、中(1名)、高(4名)
特別支援教育班	3		4	1	8	小(3名)、特(5名)
理科研修班	3		8	1	12	小(4名)、中(3名)、高(5名)
産業教育班				10	10	高(10名)
IT 教育班	6		7	2	15	小(4名)、中(3名)、高(7名)、特(1名)
計	24	5	38	16	83	小(29名)、中(17名)、高(31名)、特(7名)

### 4 長期研修実施要項及び要領

#### (1) 研修の進め方

- ・研修計画検討会（研究テーマ、テーマ設定の理由、研究仮設、研究内容、研究計画等）
- ・検証授業（研修計画・学習指導計画に基づいて、学校現場にて研究テーマの検証授業を行う。）
- ・中間検討会
- ・研究報告書検討会
- ・研究報告会（前期：平成 30 年 9 月 11 日(火)～13 日(木)、後期：平成 31 年 3 月 12 日(火)～15 日(金)）

#### (2) クラブ活動…毎週水曜日 16:00～17:00

### 5 長期研修講座

- (1) 全班必修講座…12講座
- (2) 選択講座 …54講座

### 6 平成 31 年度長期研修員の募集業務日程について(案)

#### 【平成 30 年】

9月下旬…募集要項発送

(学校人事課、県立学校教育課、義務教育課、各教育事務所、各市町村教育委員会、各学校・幼稚園等)

10月下旬…応募締切(各市町村教育委員会)

11月上旬…応募締切(各教育事務所)

11月中旬…応募締切(県立総合教育センター)

#### 【平成 31 年】

2月下旬…長期研修員の選考結果の通知

(学校人事課、県立学校教育課、義務教育課、各教育事務所、当該市町村教育委員会、当該学校・幼稚園)

※ 第1次選考結果は、平成 31 年1月下旬に通知する予定。

※ 最終選考結果については、平成 31 年2月下旬に通知する予定であるが、研修等定数の決定時期によっては、3月にずれ込む可能性がある。



県立総合教育センターにおける法定研修・指定研修

○法定研修・指定研修は、研修の系統や重点事項を明確にして実施することが重要である。

- 1 研修の系統性は、「平成 30 年度 教職員研修事業計画書」に基づく。
- 2 研修の重点化は、研修受講者の教職経験段階に基づき、下記の通りとする。

(1) 教員のキャリアステージに基づいた経験年数による研修の系統

経験年数	学校に活力を与える (1年目)	担当公務を しっかり担う！ (概ね3年目前後)	教育活動を 推進する (概ね8年目前後)	中心的な役割を 果たす (概ね13年目前後)	全校的な視点から 学校を支える (概ね18年目以降)
経験段階	<b>採用ステージ</b>	<b>基礎ステージ</b>	<b>充実ステージ</b>	<b>発展ステージ</b>	<b>指導ステージ</b>
研修名	初任者研修 (法定研修)	教職2年目 研修 (指定研修)	教職5年経験者研修 (指定研修)	教職15年経験者研修 (指定研修)	
		教職3年目研修 (指定研修)	中堅教諭等資質向上研修 (法定研修)		

(2) 経験段階に応じた各研修の重点化の基本内容

	学校に活力を与える！  採用ステージ (1年目)	担当校務をしっかりと担う！  基礎ステージ (概ね3年目前後)	教育活動を推進する！  充実ステージ (概ね8年目前後)	中心的な役割を果たす！  発展ステージ (概ね13年目前後)	全校的な視点から学校を支える！  指導ステージ (概ね18年目以降)
ステージ像	○教育活動に関する基礎的・基本的な知識・技能等を生かして、児童生徒等の実態等を踏まえた教育活動を実践することができる	○教育活動に関する知識・技能等を生かして、児童生徒等の実態等に応じた教育活動を実践することができる。	○教育活動に関する知識・技能等を充実させ、創意工夫を生かした教育活動を実践・推進することができる。	○自らの経験や強み等を生かして、学校全体の状況や地域の実態等を踏まえた教育活動を効果的に推進することができる。	○豊かな知識・技能や経験等を生かして、全校的な視点から、教育活動をより効果的・効率的に推進することができる。
	○沖縄県の教員としての自覚を持ち、チームとしての学校の一員として、他の教職員に積極的に指導・助言を求めながら、連携・協働体制のもとで、担当する校務に取り組むことができる。	○チームとしての学校の一員として、他の教職員と連携・協働しながら、担当する校務を担うことができる。	○経験の浅い教職員に積極的に関わる等、同僚性の向上や連携・協働の充実を図り、連携・協働体制の構築を推進することができる。	○学年や分掌等の連携・協働体制において、中心的な役割を果たし、他の教職員に指導・助言をすることができる。	○全校的な視点から、チームとしての学校の連携・協働体制を支え、他の教職員を適切に支援・育成することができる。

①長期研修について（教育経営研修班）

(3) 平成 26 年度以降における法定研修・指定研修体系【県立学校】

	初任研		2 年研	3 年研	5 年研	中堅教諭等資質 向上研修（10 年研）		15 年研
	校内	校外	校外	校外	校外	校内	校外	校外
24 以前	180 時間 程度	25 日			5 日	17 日	12 日	2 日
25 年度	180 時間 程度	25 日	1 日 H24 採用者 (希望者)		5 日	17 日	12 日	2 日
26 年度	180 時間 程度	20 日	1 日 H25 採用者 (希望者)		5 日	17 日	12 日	2 日
27 年度	180 時間 程度	20 日	4 日 H26 採用者		5 日	17 日	12 日	2 日
28 年度	180 時間 程度	20 日	4 日 H27 採用者	2 日 H26 採用者	5 日	17 日	12 日	2 日
29 年度	180 時間 程度	20 日	4 日 H28 採用者	2 日 H27 採用者	5 日	17 日	12 日	2 日
30 年度	180 時間 程度	20 日	4 日 H29 採用	2 日 H28 採用	4 日 (1 日は校内) H26 採用者	17 日	12 日	2 日
31 年度	180 時間 程度	20 日	4 日 H29 採用	2 日 H28 採用	4 日 (1 日は校内) H26 採用者	17 日	12 日	2 日

## 平成 31 年度 夏期短期研修に関すること

沖縄県立総合教育センター IT 教育班

### 1 講座内容について

#### (1) 講座概要

	H31 年度	H30 年度	増減
開設講座数	91 種	79 種	+ 1 2
	92 講座	83 講座	+ 9
講座定員	3, 462 名	3, 018 名	+ 444

(2) 詳しい講座内容は、5 月 13 日 (月) 頃に Web で公開します。

### 2 申込方法について：すべての校種について、Web 上から入力する。

※ 各教育事務所及び教育委員会から、管内の申込状況や受講状況に関する確認は、各事務所及び委員会宛に送付する ID・パスワードで御確認ください (次ページ参照)。

### 3 日程について

4 月後半～5 月上旬	メール等でパスワード配布 離島、私立学校等へは郵送 ID・PW を送付。
5 月 13 日 (月)	Web ページ公開及び要項発送 ※公立学校はメール送付
6 月 3 日 (月)～6 月 11 日 (火)	募集期間
6 月 20 日 (木)	一次受講可否公開予定日
6 月 20 日 (木)～6 月 26 日 (水)	二次募集期間
7 月 3 日 (水)	最終受講可否公開予定日
7 月 24 日 (水)～8 月 26 日 (月)	講座実施

### 4 申込みや取りまとめ等の事務処理について

(1) 幼稚園・小学校・中学校の応募枠内に、特別支援学校各校種部 (幼稚部・小学部・中学部・高等部) を含める。

(2) 申込み手続き及び受講状況確認の Web 化 (平成 25 年度より実施)

学校からの申込みの際、Web (インターネット) 上で手続きすることにより、集計や応募状況・受講状況を即座に公表することができる。

※平成 25 年度より公立幼稚園を含む全校種において、本センター Web ページ上に示された『短研申込みシステム』にて申請及び確認ができるようにした。

※教育センター Web <http://www.edu-c.open.ed.jp/> 内の「研修・講座」→「夏期短期研修」→「短期研修申し込みシステム」



### 5 学校へ特に周知すべき事項 (要項内に明記)

(1) 参加時の服装について、研修にふさわしい服装で受講するよう周知する。

(別に服装を指定する場合は個票に示す/体育着やシューズ等)

(2) 離島や遠方から参加する教員に対して、宿泊棟の積極的な活用を周知する。

(3) 短期研修に関する様々な質問や意見に対して

①講座の内容を知りたい

各講座の詳細は個票に示されており、『短研申込みシステム』で閲覧することが可能であること (紙媒体では配布していない)。

②夏期短期研修に関すること (IT 教育班)

②学校で周知されていない

各地区管理職等研修会において、管理職から所属職員へ積極的に受講を奨励するよう依頼する。

③可否決定確認が複雑

諸般の事情(受講希望者が 3000 人を超えること、学校ごとの周知が必要であること、個人情報保護の観点)に鑑み、I D・パスワードを用いた申込みや可否確認を行う必要があることについて理解を求める。

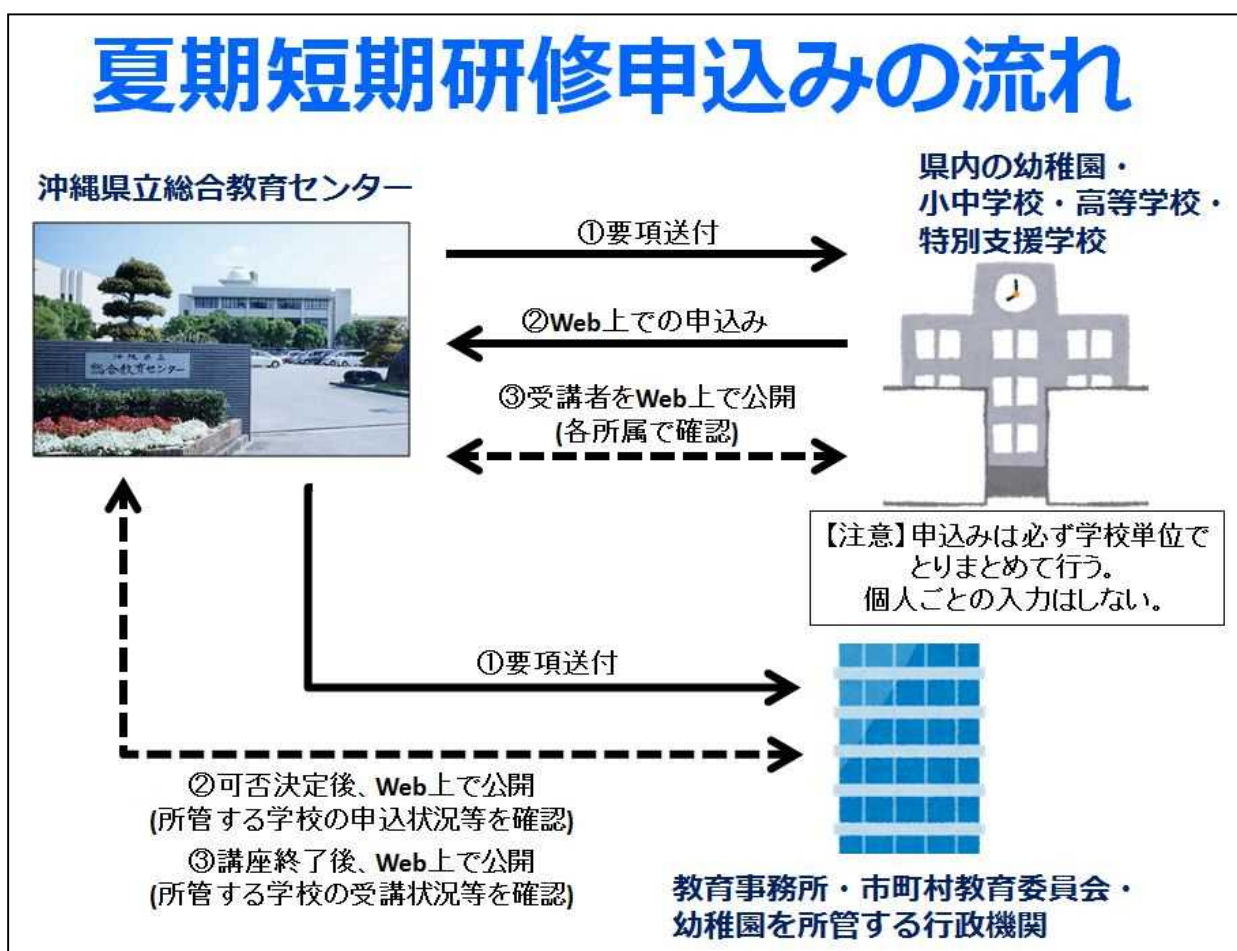
(4) 臨時的任用教員(講座日に任期期間にあるもの)の受講も可とするが、応募者多数の場合は、本務教員を優先するものとする。

(5) その他

①乗り合わせによる来所(駐車台数が限られているため)

②教育センター駐車場及び周辺では、安全運転を心がけ徐行する

③昼食持参及び昼食場所の事前確認(12:00~13:00)



平成31年度 夏期短期研修一覧										
※一覧は1月31日 (木)現在の予定です。最終決定はセンターのWebにて公開いたします。										
番号	講座名	期日	日数	主管班	対象校種と募集定員					
					認こ・幼 特幼	小 特小	中 特中	高	特支	合計
1	小学校国語講座 (低学年)	8/6 (火)	1	教科		80			*	80
2	小学校国語講座 (中学年)	8/9 (金)	1	教科		80			*	80
3	小学校国語講座 (高学年)	8/22(木)	1	教科		80			*	80
4	小学校社会講座	8/14(水)	1	教科		25			*	25
5	小学校算数講座 (低学年)	8/2(金)	1	教科		60			*	60
6	小学校算数講座 (中学年)	8/19(月)	1	教科		60			*	60
7	小学校算数講座 (高学年)	8/21(水)	1	教科		60			*	60
8	小学校体育講座	8/16(金)	1	教科		40			*	40
9	小学校音楽実技講座 (学級担任)	8/5(月)	午前	教科		40			*	40
10	小学校音楽実技講座 (専科)	8/5(月)	午後	教科		40			*	40
11	小学校図画工作実技講座 (1・2・3年)	7/25(木)	1	教科		80			*	80
12	小学校図画工作実技講座 (4・5・6年)	7/29(月)	1	教科		30			*	30
13	小学校生活科講座	7/26(金)	午後	教科	50				*	50
14	小学校道徳教育講座	8/1(木)	1	教科		80			*	80
15	小学校特別活動講座	8/16(金)	1	教科		80			*	80
16	小・中総合的な学習の時間講座	8/9(金)	1	教科		20			*	20
17	小学校外国語講座	8/1(木)	1	教科		40			*	40
18	中・高国語講座	8/2(金)	1	教科			25		*	25
19	中学校社会・高校地歴公民講座	8/21(水)	1	教科			25		*	25
20	中学校数学講座	8/2(金)	1	教科			20		*	20
21	中・高音楽実技講座	8/6(火)	午後	教科			18		*	18
22	中・高保健体育講座	7/24(水)	1	教科			40		*	40
23	中・高美術講座	8/1(木)	1	教科			20		*	20
24	中・高外国語講座	8/6(火)	1	教科			25		*	25

平成31年度 夏期短期研修一覧										
※一覧は1月31日 (木)現在の予定です。最終決定はセンターのWebにて公開いたします。										
番号	講座名	期日	日数	主管班	対象校種と募集定員					
					認こ・幼 特幼	小 特小	中 特中	高	特支	合計
25	中学校道徳教育講座	7/29(月)	1	教科			80		*	80
26	中・高特別活動講座	8/19(月)	1	教科			30		*	30
27	高校総合的な学習の時間講座	8/22(木)	午前	教科				20	*	20
28	高校数学講座	8/14(水)	1	教科				20	*	20
29	うちなーぐち実践指導講座	7/26(金)	午前	教科	40				*	40
30	小・中小規模・複式学級担任講座	8/1(木)	午前	教科		20				20
31	カリキュラム・マネジメントの視点における教科指導講座	7/30(火)	午前	教科		50				50
32	幼児教育講座	8/21(水)	1	経営	90	10			*	100
33	小・中・高キャリア教育講座	8/5(月)	1	経営		50				50
34	生徒指導・教育相談講座	8/13(火)	1	経営	80					80
35	養護教諭の健康相談実践講座	8/6(火)	1	経営		30				30
36	食教育講座	8/22(木)	1	経営	45					45
37	NIE講座	8/20(火)	1	経営		50				50
38	視覚障害教育講座	7/30(火)	1	特支	40					40
39	聴覚障害教育講座	8/14(水)	1	特支	40					40
40	肢体不自由教育講座	7/31(水)	1	特支	40					40
41	病弱・虚弱教育講座	8/7(水)	午後	特支	40					40
42	訪問教育講座	8/5(月)	午後	特支					40	40
43	知的障害教育講座	8/1(木)	1	特支					50	50
44	特別支援教育基礎講座 (特別支援学級：知的、情緒・自閉)	7/24(水)	1	特支		50 (特別支援学級)				50
45	発達障害教育スキルアップ講座 (コーディネーター・教育相談係対象)	7/29(月)	1	特支	80 (コーディネーター・教育相談係)					80
46	障害のある子ども理解と保護者支援 (幼稚園・小学校・特別支援学校)	8/6(火)	1	特支	80				*	80
47	障害のある子ども理解と保護者支援 (中学校・高等学校・特別支援学校)	8/7(水)	1	特支		80			*	80

平成31年度 夏期短期研修一覧										
※一覧は1月31日 (木)現在の予定です。最終決定はセンターのWebにて公開いたします。										
番号	講座名	期日	日数	主管班	対象校種と募集定員					
					認可・幼 特幼	小 特小	中 特中	高	特支	合計
48	子ども観察力・支援力アップ講座 (幼稚園・小学校・特別支援学校)	8/8(木)	1	特支	80				*	80
49	子ども観察力・支援力アップ講座 (中学校・高等学校・特別支援学校)	8/9(金)	1	特支			80		*	80
50	小学校理科基礎講座「エネルギーと粒子」	7/26(金)	1	理科		20			*	20
51	小学校理科基礎講座「生命と地球」	7/24(水)	1	理科		20			*	20
52	小・中学校家庭科講座	8/2(金)	1	理科		12			*	12
53	小・中・高・特支環境学習指導講座 (講義・演習)	8/1(木)	1	理科		20		20	*	40
54	小・中・高・特支環境学習指導講座(実習)	8/2(金)	1	理科		12		12	*	24
55	中学校自然観察スキルアップ講座	7/29(月)	1	理科			16		*	16
56	中学校理科実験スキルアップ講座	7/31(水)	1	理科			16		*	16
57	中学校技術実技講座 I	8/7(水)	1	理科			14		*	14
58	中学校技術実技講座 II	8/9(金)	1	理科			14		*	14
59	高等学校物理講座	8/8(木)	1	理科				20	*	20
60	高等学校化学講座	8/8(木)	1	理科				12	*	12
61	高等学校生物講座	8/8(木)	1	理科				10	*	10
62	実習助手スキルアップ講座	8/14(水)	1	理科				18		18
63	高等学校家庭科講座	8/8(木)	1	理科				12	*	12
64	農業技術基礎講座	7/26(金)	1	産業				10	*	10
65	地域資源活用講座	7/30-31 (火-水)	2	産業				10		10
66	農業実習助手スキルアップ講座	8/21(水)	1	産業				5	*	5
67	NC工作機械技術講座	8/7-9 (水-金)	3	産業				10		10
68	溶接技術講座	7/24-25 (水・木)	2	産業				10		10
69	フライス盤加工技術講座	8/13-15 (火-木)	3	産業				6		6
70	通信・制御技術講座	7/29(月) 7/30(火)	2	産業				5	*	5

平成31年度 夏期短期研修一覧										
※一覧は1月31日 (木)現在の予定です。最終決定はセンターのWebにて公開いたします。										
番号	講座名	期日	日数	主管班	対象校種と募集定員					
					認こ・幼 特幼	小 特小	中 特中	高	特支	合計
71	マイコン制御技術講座	7/31-8/2(水-金)	3	産業				10		10
72	商業科に関するスキルアップ講座Ⅰ	8/5-6(月-火)	2	産業				10		10
73	商業科に関するスキルアップ講座Ⅱ	8/8-9(木-金)	2	産業				10		10
74	マルチメディア技術講座	8/13-14(火-水)	2	産業				6		6
75	ネットワーク技術講座	8/1-2(金-土)	2	産業				6		6
76	プログラミング技術講座	8/9(金)	1	産業				8		8
77	特別支援教育のためのICT活用講座 〔公立学校対象〕	8/19(月)	1	IT			30			
78	特別支援教育のためのICT活用講座 〔支援学校対象〕	8/23(金)	1	IT					30	
79	初心者のための情報モラル教育講座	8/6(火)	1	IT			30			30
80	実習で学ぶ初心者のためのパソコン の仕組みとネットワーク講座	8/16(金)	1	IT			20			20
81	初心者のための表計算ソフト活用 講座	7/26(金)	1	IT			75			75
82	タブレット端末における静止画・動画 編集講座(義務)	8/8(木)	1	IT			30		*	30
83	授業に役立つタブレット端末活用講 座:初級(県立)	8/5(月)	1	IT				30		30
84	授業に役立つタブレット端末活用 実践講座【iOS】(義務)	7/30(火)	午前	IT			30		*	30
85	授業に役立つタブレット端末活用 実践講座【Windows】(義務)	7/30(火)	午後	IT			30		*	30
86	授業に役立つタブレット端末活用 講座:中級(県立)	8/9(月)	1	IT				30		30
87	Office365活用講座Ⅰ [アンケート (OneNote, Forms)]	8/5(月)	午前	IT				50 (中学校は県立のみ)		50
88	Office365活用講座Ⅱ [データ共 有] (OneDrive, ClassNotebook)	8/9(金)	午前	IT				50 (中学校は県立のみ)		50
89	Office365活用講座Ⅲ [外部連携] (Yammer, Skype)	8/16(金)	午前	IT				50 (中学校は県立のみ)		50
90-①	小学校プログラミング教育講座①	7/31(水)	1	IT			80		*	80
90-②	小学校プログラミング教育講座②	8/1(木)	1	IT			80		*	80
91	プログラミング体験(レゴマインド ストームEV3)講座	8/5(月)	午後	IT			30		*	30



（学校向け利用案内）

## 出前研修に関すること

### 1 目的

学校や教科等の研究会の要請に応じ、校内研修や授業研究会等の教員研修及び研究指定校等への支援を図る。

### 2 対象および内容

- (1) 県内公立学校（認定こども園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）
  - 各学校における「校内研修」、「研究授業」、「研究指定校」等の支援
  - ※認定こども園については3歳以上の幼児教育の内容を対象とする。
- (2) 教科等の教育研究会、PTA・地域等
  - 各教科等の教育研究会における研修等の支援
  - 各学校におけるPTA・地域を対象とした「講演会」等の支援
  - ※当総合教育センターの施設を活用した講座も実施可能である。

### 3 研修案内

- A「教科・授業づくり」
- B「総合的な学習の時間、特別活動、特別の教科道徳等」
- C「学校づくり、生徒指導・教育相談等」
- D「ICT教育」
- E「特別支援教育」
- F「高等学校における学校支援及び研究指定校支援」

### 4 研修手続き

- (1)最初に「出前研修」依頼書仮申込（様式1）と研修計画書（様式2）を提出する。  
※書類や記載内容の不備によっては、仮申込を差し戻す場合があります。
- (2)研修実施主事から研修実施「可」の連絡を受けたら、内容、日時等を確認（調整）する。
- (3)日程等の調整後、「出前研修」依頼書に公文番号を記入し、正式に○を付けて提出する。  
(FAX、e-mailどちらでも可)

### 5 依頼内容に応じた特別な講座の形態（パッケージ型）について

課題やテーマに沿って年間を通して計画的に講座や支援を実施する。（年間3回）  
（理論的講座→実践的講座→検証授業指導助言）、（特別支援教育の講座→個に応じた支援）など

### 6 講師の旅費

出前研修に係る担当者等の旅費（交通費）は、原則として当総合教育センターで負担する。

### 7 その他

- (1) 本要項に定めるもののほか、当総合教育センター「出前研修」の実施に関する必要な事項は当総合教育センター所長が定める。
- (2) 各学校から依頼（研修実施主事の派遣）できる回数は3回以内とする。
- (3) 校長は、出前研修を実施する際は、合同で実施するなど、できるだけ近隣校へ呼びかけをする。  
また、その調整を当総合教育センター側から依頼することもある。
- (4) 離島や小規模校の場合、複数校合同で行うか、同日の午前・午後や連日で行うなどの日程の工夫をすること。
- (5) 高等学校及び特別支援学校「研究指定校の支援」に関する依頼は、実施回数等の相談を受ける事ができる。

※当総合教育センターWebページでは、「出前研修の利用案内」を公開しています。依頼の際は、本冊子の『「出前研修」依頼書』（様式1）と「研修計画書」（様式2）をコピーするか、電子ファイルをダウンロードして御利用ください。  
<http://www.edu-c.open.ed.jp/>

★公文番号の記入漏れが無いようにお願いします。

平成31年度も、今年度と同様、小・中学校の教員を対象に自主講座を実施予定です。実施要項は、これから作成しますので、下記の資料は参考資料としてご覧下さい。

## 平成30年度 理科研修班 自主講座実施要項

[小理科] [小家庭科] [中技術・家庭]

### 1 趣 旨

小学校理科、家庭科および中学校技術・家庭科における教員の資質・指導力の向上を目的とする。

### 2 対象および定員（1講座対象人数）

○小学校教諭（20人程度）

○中学校（技術・家庭科）教諭：家庭分野（10人程度）、技術分野（10人程度）

\*臨時的任用教員、非常勤講師、学習支援員も含める。

\*応募者多数の場合は調整を行う。

### 3 方 針

\*小学校理科講座は年間8回、技術・家庭は3回行う（下記予定表記載）。

\*小学校理科講座の研修内容は、理科の観察・実験・実習を中心に、3年生から6年生までの系統的な問題解決学習を重視した授業づくりに関するものとし、全国学力調査等で明らかとなった課題に対応した研修を計画し実施する。観察・実験の指導技能の向上と児童の思考力を高める授業力の向上を目指して行う。

\*講座場所は基本的に教育センターの各研究室の実験・実習室等を利用して行う。

### 4 平成30年度自主講座講座予定表

【理科】

月	日	曜	回	分野	講 座 内 容
4	13	金	第1回	地学	理科の授業の進め方、天気の様子・変化(4,5年)、太陽と地面の様子(3年)
5	11	金	第2回	生物	植物の発芽、成長、結実(3,5年)、動物の誕生(5年)
6	8	金	第3回	生物	生物と環境(6年)、植物の養分と水の通り道(6年)
6	29	金	第4回	化学	燃焼の仕組み(6年)、物の溶け方(5年)、空気と水の性質(4年)
9	7	金	第5回	地学	流れる水の働き(5年)、土地のつくりと変化(6年)、月と星、月と太陽(4,6年)
10	5	金	第6回	物理	風やゴムの働き(3年)、振り子の運動(5年)、てこの規則性(6年)
11	9	金	第7回	化学	物と重さ(3年)、金属、水、空気と温度(4年)、水溶液の性質(6年)
12	7	金	第8回	物理	磁石の性質(3年)、電流の働き、電気の利用(5,6年)

【技術・家庭科】

月	日	曜	教科	研究室	講 座 内 容
5	11	金	小家庭科	家庭科	小学校家庭分野 手縫い・ミシン縫いの基礎、袋物の製作
6	1	金	中家庭科	〃	中学校家庭分野 調理の基礎
10	26	金	中技術科	技術科	中学校技術分野 年間指導計画の作成と評価

### 5 募集および申込方法

(1) 年度初めに講座案内チラシをセンターHPに掲載するとともに、各学校へFAXにて送付する。

(2) 各講座2～3週間前に各学校へFAXを送信し、受講者を募集する。

(送信FAXは申込返信用紙を兼ねる)

(3) 受講希望者はFAXにて申込をする。(講座1週間前に締切設定)

※ 年間の受講予定も受付ける。

### 6 その他

(1) 受講は自主参加とする。

(2) 講座内容により必要な経費（材料費等）が生じた場合は、参加者の自己負担とする。

\*時間は基本的に18:00～20:00に設定する。

(講座内容・時期により時間の変更、土曜日開催等もある。)

## ICT 教育研修に関すること

県立総合教育センター IT 教育班

### 1. 平成31年度 ICT 教育研修

趣旨：児童生徒に豊かな学力を身につけさせるために、各教科における ICT を活用した授業を推進するとともに児童生徒、教職員の情報活用能力を向上させることを目的に実施しています。

ICT 教育研修→旅費については、県立学校教育課及び義務教育課より令達されます。

#### (1) 小学校・中学校

##### 【指定研修】

「教育情報化推進講座」

→構内情報化推進リーダーの育成を図る

##### 【応募研修】

##### ① 「校務の情報化研修①②③」(小・中)

→校務の情報化と効率化のためアンケート集計システムの活用と実践

##### ② 「授業における ICT 活用講座」(小・中)

→教員の ICT 活用指導力の向上を図る

##### ③ 「小学校 ICT 活用研修」(小)

→小学校におけるプログラミング教育の実践方法を学ぶ

##### ④ 「中学校 ICT 教育研修」(中)

→中学校技術課におけるプログラミング教育の実践方法を学ぶ

平成30年度実績 小学校・中学校計 約980名

#### (2) 高等学校・特別支援学校

##### 【指定研修】(対象学校より1人参加)

##### ① 「校内ネットワーク管理運営講座」(県立学校) ※隔年実施

→生徒・職員が安全にネットワークを利用できるよう管理運営内容等を学ぶ

##### ② 「教育情報化推進講座」(県立学校)

→校内情報化推進リーダーの育成を図る

##### ③ 「教科『情報』実践講座①②」(高・特)

→教科「情報」に関する知識や課題に対する協議など資質向上のための研修

##### ④ 「入試情報管理システム講座」(高)

→入試情報管理システムを活用した入試事務処理に必要な事項について学ぶ

##### ⑤ 「授業における ICT 活用講座①②」(高)

→授業におけるタブレット端末、Office365 活用に関する講座

##### ⑥ 「特別支援学校 ICT 活用講座①②」(特)

→特別支援学校における ICT を活用した授業実践の情報交換及び共有化

##### ⑦ 「特別支援学校校務支援システム基礎講座」

→特別支援学校校務支援システム担当者の引継ぎに必要な事項についての研修

【応募研修】

- ① 「新任担当者のための校内ネットワーク講座」(高・特・県立中)  
→新任担当者へ校内ネットワーク管理運営に関する研修および初歩的な実習を行う
- ② 「新任担当者のための進路相談支援システム講座」(高)  
→新任担当者へ進路相談支援システムの運用方法に関する基礎的な研修を行う
- ③ 「新任担当者のための特別支援学校校務支援システム講座」(特)  
→新任担当者へ特別支援学校校務支援システムの運用方法に関する研修を行う。
- ④ 「新任担当者のための学校 Web ページ作成 (CMS) 講座」(高・特・県立中)  
→CMS による学校 Web ページの作成に関する初歩的な研修
- ⑤ 「学校 Web ページ作成 (CMS) 講座」(高・特・県立中)  
→学校 Web ページを CMS に変更する予定の学校向け研修

平成 30 年度実績 高等学校・特別支援学校 計 約 5 4 0 名

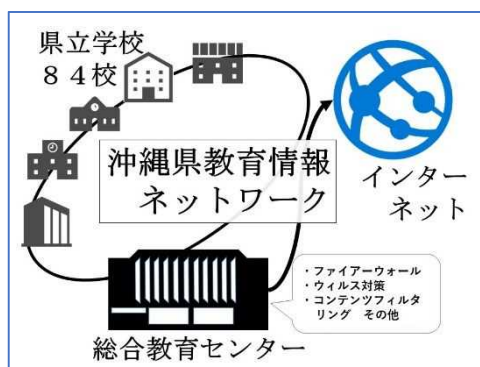
## 2. 沖縄県教育情報ネットワークの運用

趣旨： I T 教育センターにおけるネットワークシステムの構築及び管理業務

現状： 県立学校等で利活用されている沖縄県教育情報ネットワークが、学校で有効かつ安心・安全に利用されるような環境を提供出来るよう日々取り組んでいる。

平成 3 0 年 8 月より、教育センター上流のインターネット回線の増速を図り、端末の接続可能台数の大幅な増加など、学校のインターネット接続環境を強化した。

業務用の個別メールアドレスおよび業務用メールアドレスもすべてクラウドサービスに移行し、電子メールのみならず Web 会議システムなど授業に利用できる機能を提供している。



## 3. 校務支援システムの運用

趣旨： 教職員が必要な情報を共有することによりきめ細かな指導を可能にするとともに、校務の効率化を図り、教員が児童生徒と向き合う時間や教員同士が相互に授業展開などを吟味しあう時間を増加させ、ひいては教育の質の向上と学校経営の改善に資するものとしての情報共有や校務処理の効率化を支援するためのシステム導入を推進している。

現状：

進路相談支援システム (高等学校)

県内 60 校の全日制課程・単位制課程および通信制課程にて運用している。

特別支援学校版教育支援システム (特別支援学校)

平成 3 0 年度より、県内 2 1 校の特別支援学校にて運用開始。

## 児童・生徒実習事業

### 1. 専門学科生徒実習

#### (1) 目的

近年の産業界の急速な技術革新に対応した教育を行うため、産業教育班（産業技術教育センター）では先端技術装置及び高度情報機器等に関する生徒実習をおこなうことで、本県産業を担う人材の育成に寄与する。

#### (2) 実習の対象

県立高等学校の産業教育に関する専門学科（総合学科も含む）

#### (3) 実習内容

① 主な実習項目…農業系、工業系、商業系の実習を下記の内容で提供

<b>【バイオ生産システム研究室】</b> 植物工場の実習、植物の組織培養等のバイオ技術実習、野菜・果樹・草花の栽培管理技術実習、
<b>【分析システム研究室】</b> 食品の成分分析実習、土壌・作物等の成分分析実習、水質・大気等の環境分析実習
<b>【総合生産システム研究室】</b> ウォータージェット加工実習、CNC 複合加工機実習、マシニングセンタ実習、CAD/CAM システム実習、FMS 技術実習、溶接ロボット実習、人工宝石加工実習、汎用工作機械実習等
<b>【通信・制御研究室】</b> 空気圧制御実習、ネットワーク制御システム、ロボット制御実習、3D 測量実習
<b>【ビジネスシステム研究室】</b> デジタル素材活用実習、ビジネスシミュレーション実習、動画・静止画・音楽編集等のアプリケーション実習、Web コンテンツ入門実習
<b>【マルチメディア・ネットワーク研究室】</b> ネットワーク技術実習、レーザー加工技術実習、画像処理（高速度カメラ）、3D 基礎技術実習、コンピュータ録音技術実習

② 平成 30 年度実績・・・282 回、3,562 名受講（平成 31 年 2 月現在）

### 2. 産業教育実践講座「農・工・商が連携した中学生体験学習」

#### (1) 目的

- ① 中学生が先端技術機器等を活用し、各産業分野について学ぶとともに、産業分野の繋がりや職業に関する理解を深める。
- ② 多様化している産業と職業について何を学び、何を身に付けなければならないかを考えることを通して、興味・関心等に基づく勤労観・職業観の形成を目指す。

#### (2) 対象

県内中学生

#### (3) 講座内容

農業・工業・商業を連携させた商品開発、ものづくり体験

### 3. ICT 児童生徒実習（IT 教育班）

目的：ICT 機器を活用した学習を通して、児童生徒の情報活用能力と英語コミュニケーション能力の向上を図る。平成 30 年度の受講合計人数は 176 名

(1) ICT語学活用セミナーおよびICT活用セミナー【夏季休業中開催】

- ①小学生ICT語学活用セミナー（12名）
- ②小学生プログラミングセミナー（Mincrat）（40名）
- ③小学生プログラミングセミナー（レゴロボットEV3）（32名）
- ④中学生ICT活用セミナー（PC組立、プログラミング等）（12名）

※5月末頃に要項・案内用チラシを各学校に配付、Webページ掲載予定

(2) 学校向け講座【平日開催】

（情報モラル、Office365サービスの活用、プレゼンテーションの協働作業など）  
宜野湾高等学校（80名）

#### 4. その他

##### 産業教育支援講座

(1) 目的

産業教育棟の施設・設備を活用して専門高校教職員（農業、工業、商業）の技術・技能の習得及び実践的な指導力の向上を図る。

(2) 対象 県内専門高校教職員

(3) 平成30年度実績（13回実施、166名受講）

講座名	内容	受講者
賞味期限設定に関する技術講座	賞味期限設定に関する理化学検査・微生物検査の方法及び操作技術	18名
スターリングエンジン加熱源製作・搭載に関する技術講座	スターリングエンジン製作に伴う加熱源の加工、搭載に関する加工技術	5名
計測制御におけるプログラム作成と操作に関する技術講座	myRIOの基本構造、myRIOの入出力ポート、プログラムの作成と実行等	47名
電子回路制御技術講座Ⅲ	ものづくり技能指導への知識・技能の向上を図る	18名
ウォータージェット加工機におけるプログラム作成と操作に関する技術講座	JWCADの基本操作、ウォータージェット加工機での切削加工	21名
自動制御装置付加装置取付・操作に関する技術講座	負荷装置の製作と取り付け、プログラムの作成と実行、各種センサを使用した制御	26名
セキュリティ技術講座	「Webアプリケーションセキュリティ入門」「IoT機器リバースエンジニアリング入門」	17名
AR・MR体験による観光サポートに関する講座	AR・MRに関する基礎的な知識技術の習得、観光サポート等での活用事例	14名

## 教育相談事業

### 教育相談

#### 1 目的

児童生徒一人一人の心身の健全な成長と発達を図るため、教育上の諸問題について相談に応じ、適切な支援を行う。

#### 2 対象

小学生、中学生、高校生、保護者、教育関係者、その他

#### 3 相談受付

曜日	月	火	水	木	金
午前の時間 9:30～11:30	—	○	—	○	○
午後の時間 13:30～16:30	○	○	○	○	—

※ 土、日、祝祭日を除く

#### 4 相談内容

- 学校不適応・不登校に関すること
- 進路に関すること
- いじめに関すること
- 学業不振・中途退学など
- 相談機関等の情報提供      ○その他・お問い合わせ

#### 5 方法

電話相談、来所相談、学校訪問

#### 6 平成30年度教育相談実施状況【平成31年1月31日（現在）】

##### (1) 相談件数＜延べ回数＞（実数）

相談対象	電話相談	来所相談	合計
小学生未満	2 (2)	1(1)	3 (3)
小学生	24 (18)	3(2)	27 (20)
中学生	28 (25)	5(3)	33 (28)
高校生	44 (29)	17 (2)	61 (31)
その他	4 (4)	0	4 (4)
合計	102 (78)	26(8)	128(86)

(80%)                      (20%)                      (100%)

##### (2) 主訴別相談件数＜延べ回数＞（実数）

相談対象	不登校	遊び・ 非行	性格 行動	学校 生活	いじめ	左記以外の 教育相談	合計
小学生未満	0	0	0	1(1)	0	2(2)	3(3)
小学生	15 (10)	0	2(2)	2(1)	2(2)	6(5)	27(20)
中学生	22(18)	2(2)	3(2)	4(4)	1(1)	1(1)	33(28)
高校生	46 (18)	0	0	1(1)	0	14 (12)	61(31)
上記以外	0	0	0	0	0	4(4)	4(4)
合計	83(46)	2(2)	5(4)	8 (7)	3(3)	27(24)	128(86)

(65%)                      (2%)                      (4%)                      (6%)                      (2%)                      (21%)                      (100%)

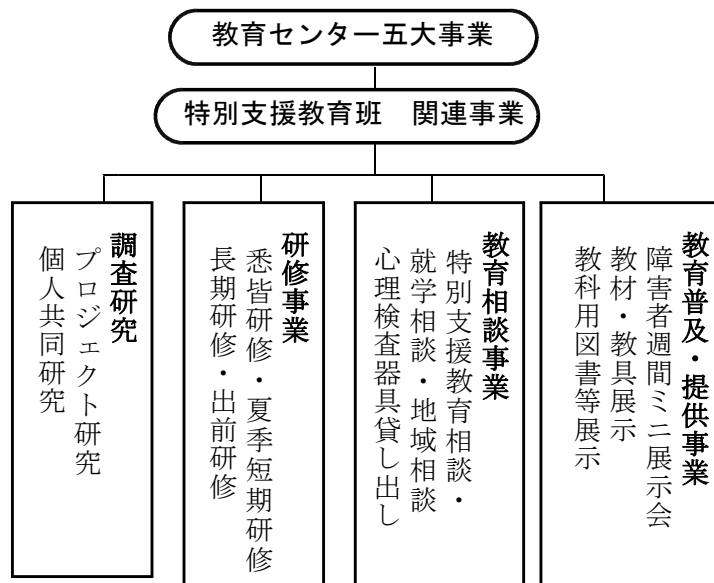
## 特別支援教育相談に関すること

### I 特別支援教育班事業の目的

総合教育センター五事業（調査研究・研修事業・教育相談事業・教育情報普及等）をとおして、本県の学校教育の諸課題解決や特別支援教育の充実（課題解決、学習指導や支援力向上、人材育成と推進に資することを目的とする。

### II 特別支援教育班事業

各事業の実施については、所内各班並びに教育行政機関、幼小中学校・高等学校・特別支援学校、福祉等関係機関と連携し取り組むこととする。



### III 教育相談事業の概要

#### 1 目的及び内容

- 特別支援及び教育を必要とする幼児児童生徒やその保護者、関係者に対して、幼児児童生徒の健全やかな成長のため、障害等の特性理解、養育、教育および就学等についての相談に対応する。
- 各学校及び地域へ支援をつなげたり、体制整備のために関係者や福祉機関等との連携協力の下、その相談に対応する。

#### (1) 特別支援教育相談

来所相談（センター内で相談等）、電話相談、訪問相談（各学校の授業参観や相談）

#### (2) 地域相談・就学相談

本庁関係課及び各教育事務所、市町村教育委員会、各種学校等との連携支援  
総合教育センターより相談員（特別支援学校教諭）を委嘱  
市町村教育委員会主催の巡回相談会の運営サポート

#### (3) 教育相談専門性向上のための研修

総合教育センターより相談員（特別支援学校教諭）等に対して、発達障害者支援センター及び関係機関と連携した研修会実施

- ① 関係機関 …… 発達障害者支援センター、医療、福祉、労働機関等の関係者
- ② 内容 …… 乳幼児の養育に関する相談事例→発達上の課題、養育等  
児童・生徒の教育相談事例→特性に応じた支援、支援体制整備  
就学相談事例→就学、発達の状態  
関係機関との連携→ニーズに応じたネットワークの構築



②特別支援教育相談に関すること（特別支援教育班）

2 教育相談事業における実績（平成30年実績及び平成31年度予定）

(1) 特別支援教育班実績

① 特別支援教育班指導主事対応 5名

② 相談可能な時間

時間	曜日	月	火	水	木	金
9:30～11:30		—	○	○	○	○
14:00～17:00		○	○	—	○	○

③ 平成29～30年度教育相談件数

区分	計
H29	93
H30	79

(2) 地域相談・就学相談

① 平成29～30年度特別支援学校における相談件数

区分	電話相談	来校相談	訪問相談	合計
H29	3,225	3,279	1,150	7,654
H30				

※3月✕

② 平成31年度特別支援教育相談員（特別支援学校16校）

地区	障害種	学校名	電話番号
全県	視覚障害	沖縄盲学校	098-889-5375
全県	聴覚障害	沖縄ろう学校	098-932-5475
国頭地区	全障害種	名護特別支援学校	0980-52-0505
	肢体不自由・病弱	桜野特別支援学校	0980-52-3920
中頭地区	知的障害	美咲特別支援学校	098-938-1037
	知的障害	はなさき分校	098-989-0192
	知的障害	沖縄高等特別支援学校	098-973-1661
	肢体不自由	泡瀬特別支援学校	098-932-7584
	病弱	森川特別支援学校	098-945-3008
那覇地区	知的障害	大平特別支援学校	098-877-4941
	肢体不自由・病弱	鏡が丘特別支援学校	098-877-4940
	肢体不自由	那覇特別支援学校	098-834-0948
島尻地区	知的障害	西崎特別支援学校	098-994-6855
	知的・肢体不自由	島尻特別支援学校	098-998-8240
宮古地区	全障害種	宮古特別支援学校	0980-72-5117
八重山地区	全障害種	八重山特別支援学校	0980-86-7345

(3) 平成29～30年度地域相談（巡回教育相談）実績

① 巡回相談実施数

区分	会場	相談実施
H29 (6会場)	6	35
H30 (4会場)	4	39

② 平成31年度巡回相談会場（H31.2月末現在）

西原町、久米島町 ※町教育委員会主催相談会に対するサポート

## IV 研修事業

### 1 出前研修

#### (1) 平成30年度実績

本年度の実施件数は、62回（受講者約2,006人）（表2）となっており、平成29年度急増となっている。増加理由としては、通常学級、通級、特別支援学級に在籍している発達障害等のある幼児児童生徒の特性の理解と支援方法等に対する学校全体の取り組み課題、個々の教育相談のスキル向上、教科学習等への指導支援の専門性向上等が求められているケースの増加と、今年度は新学習指導要領の理解と教育課程への取り組みに対する各学校の意識の高まりが要因です。

また、特別支援教育相談の電話相談等から、保護者及び学校が抱える課題について助言を行う中で、対応方法や理解啓発に向けた本班的取り組みを紹介したことで、教育相談から研修へ繋がった事例もあります。

表2 出前研修講座の実施校別内訳

校種等	幼・小中併置	小学校	中学校	小中併置	高等学校	特別支援学校	その他	計
回数	2	20	14	3	10	6	5	62
参加人数	55	592	448	106	330	410	65	2,006

#### (2) 次年度計画

所内担当班（理科研修班）を窓口として、今年度も継続して、幼小中学校及び高等学校、特別支援学校等の特別支援教育を必要とする幼児児童生徒の指導・支援、教育課程、学校力向上に対する出前研修に対応します。

次年度も継続して、各学校等のニーズに応じた特別支援教育の指導支援力のスキルアップにつなげるため、下記のことについて御協力をお願いします。

- ※研修実施に向けて
  - ・・・手続き方法、提出書類等をセンターホームページでご確認の上、実施前・後の調整をお願いします。
- ※研修内容の絞り込み
  - ・・・学校における現状と具体的な課題の整理、必要な研修内容について精選し、担当主事と調整が必要です。
- ※情報の共有
  - ・・・事前に学校訪問や授業参観が必要な場合があります。学校の現状や幼児児童生徒の実態把握や情報共有が適切なアドバイス等へつながります。

### 2 夏期短期研修

特別支援教育の基礎理解から学校課題の解決に向けた指導力向上、人材育成に向けた研修を企画し実施します。センターホームページにて応募期間や内容、定員等を確認の上、応募して下さい。

- ①特別支援教育基礎講座、
- ②視覚障害教育講座、
- ③聴覚障害教育講座、
- ④知的障害教育講座、
- ⑤肢体不自由教育講座、
- ⑥病弱・虚弱教育講座、
- ⑦訪問教育講座、
- ⑧障害のある子ども理解と保護者支援、
- ⑨子ども観察力・支援力アップ講座、
- ⑩発達障害教育スキルアップ講座

### 3 長期研修

特別支援教育の基礎理解から学校課題の解決に向けた指導力向上、授業力向上等にせまる人材育成に努めます。各学校職員への周知をお願いします。なお、応募方法等については、本センターより各学校及び関係者へ案内しますので、ご確認と応募をお願いします。

## V 検査器具等の貸し出し

#### (1) 貸し出し対象

学校（幼・小・中・高・特）及びその他教育関係機関

#### (2) 借用手続き

- ① 電話での事前調整（貸し出しの可否を確認） TEL 098-933-7526
- ② 借用手続き～受取

## (3) 貸し出し可能な器具

検査器具名	台数
① WISC-Ⅲ（Ⅳ）	7（4）台
② K-ABC（Ⅱ）	2台
③ ITPA	15台
④ 田中ビネーⅤ	1台
⑤ DN-CAS	2台
⑥ CLAC-Ⅲ	3台
⑦ PEP教育診断検査用具	1台
⑧ 新版K式発達検査	2台
⑨ ノンバーバル検査	1台

## VI 教育普及・提供事業

特別支援教育等の理解や啓発のため、所内各班と連携し、「障害者週間ミニ展示会」開催（12月1週目）、授業や支援に活用できる教材・教具の展示、特別支援教育講演会企画を行っています。

### 沖縄県適応指導教室「てるしの」

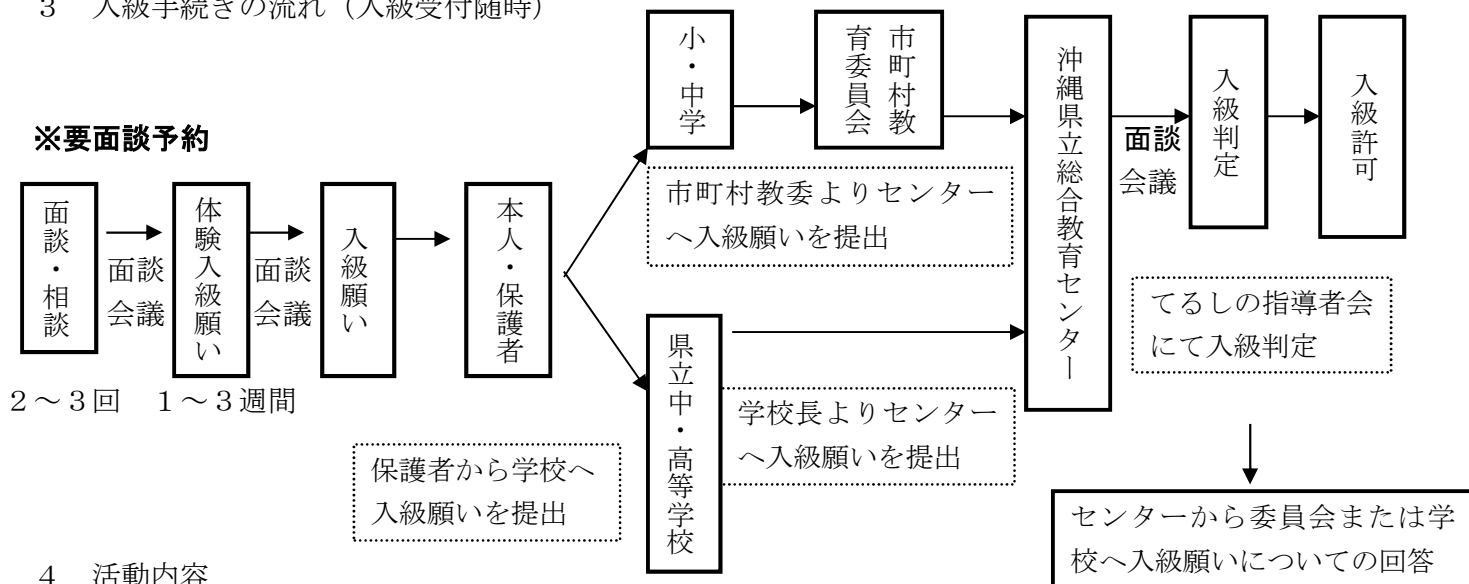
#### 1 適応指導教室の目的

不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談適応指導（学習指導を含む）を行うことにより、その学校復帰を支援し、もって不登校児童生徒の社会的自立に資することを基本とする。

#### 2 入級対象の児童生徒

県内の公立小中学校及び高等学校に在籍し、文部科学省の示す不登校の状態に準ずる児童生徒。

#### 3 入級手続きの流れ（入級受付随時）



#### 4 活動内容

##### (1) 開設期間及び日時

- ・平成31年5月7日（火）開級式～平成32年3月6日（金）
- ・月曜日から金曜日の10時～15時まで（祝祭日を除く）

##### (2) 週時程

曜日 時間	月	火	水	木	金
10:00～ 10:50	1. さわやかタイム 2. 朝の会 3. 朝の活動		チ ヤ レ ン ジ 登 校	1. さわやかタイム 2. 朝の会 3. 朝の活動	
11:00～ 11:50	学習活動(自主学習や主事等による学習支援)			学習活動(自主学習や主事等による学習支援)	
12:00～	昼食			昼食	
13:00～ 14:40	個人活動・スポーツ活動 体験活動等			教育相談及び カウンセリング (主事・担任等)	グループ活動 (みんなと一緒に活動する)
14:45～ 15:00	終わりの会				プランニング 終わりの会

- ① 児童生徒は週末に一週間の活動プログラムを立てる。
- ② 通級したら各自の日記を受け取り、一日の活動プログラムを確認する。
- ③ 学習活動や個人活動、グループ活動に何をするかは本人が決める。
- ④ 終わりの会で「私の一日」に、その日の振り返りを記入して帰る。
- ⑤ 朝の会で草花の世話をしたり、教室内外や多目的等周辺等の清掃を行ったりする。

#### 5 平成30年度の入級状況

小学生0人、中学生0人、高校生5人

### Ⅲ その他の教育相談事業（センター主催）

平成31年度行事計画

- 5月12日(日) 子どもの心を理解する保護者交流会①
- 5月29日(水) 教育相談員等研修会①
- 6月5日(水) 教育相談員等研修会②
- 6月20日(木) 教育相談員等研修会③
- 7月4日(金) 適応指導教室通級児童生徒等スポーツ交流会①
- 7月11日(木) 教育相談員等研修会④
- 8月13日(火) センター短期研修（生徒指導・教育相談）
- 9月18日(水) 教育相談員等研修会⑤  
教育相談員等研修会⑥（石垣地区開催）
- 9月29日(日) 子どもの心を理解する保護者交流会②
- 11月6日(水) 適応指導教室通級児童生徒等スポーツ交流会②
- 12月6日(金) 適応指導教室通級児童生徒等体験活動交流会
- 12月8日(日) 子どもの心を理解する保護者交流会③

### Ⅳ 沖縄県適応指導教室連絡協議会

#### 1 目的

- (1) 県内適応指導教室相互の連携及び、関係機関との連携を密にする。
- (2) 相談・指導方法及び、組織運営のあり方等の調査研究、並びに研究成果の交換を行う。
- (3) 適応指導教室の指導内容及び方法の充実を図り、不登校児童生徒への対応に寄与する。

#### 2 事業内容

- (1) 不登校児童生徒の相談・指導方法及び組織・運営のあり方に関する調査研究
- (2) 研究発表会等の開催
- (3) 県内の適応指導教室相互の連絡会及び情報交換会の実施
- (4) 不登校問題に関する、講演会・シンポジウム等の開催
- (5) 県内適応指導教室活動展示・報告会の開催
- (6) 全国適応指導教室連絡協議会全国会議への参加
- (7) 全国適応指導教室連絡協議会九州・四国地域会議への参加
- (8) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

#### 3 事業計画 ※毎月1回担当者連絡会の実施

- 5月24日(金) 沖適連幹事会・総会
- 7月25日(木)～26日(金) 全国適応指導教室連絡協議会全国会議[東京 代々木]
- 8月1日(木) 担当者等研修会①
- 9月10日(火)～13日(金) 渡嘉敷いきいき自然体験キャンプ（青少年交流の家との共催事業）
- 10月23日(水) 沖適連講演会
- 11月19日(火) 担当者等研修会②
- 1月22日(水) 活動展示報告会（県立総合教育センター）